

08 全事研第 1 号  
令和 8 年 4 月 28 日

各都道府県教育委員会教育長 様  
全国市区町村教育委員会教育長 様  
全国公立小・中・義務教育・中等教育・特別支援学校長 様  
教 育 関 係 者 様

全国公立小中学校事務職員研究会  
会 長 前 田 雄 仁  
第 58 回全国公立小中学校事務研究大会  
実行委員長 古 賀 由 美 子

## 第 58 回全国公立小中学校事務研究大会 (佐賀大会) の開催について (依頼)

陽春の候、貴職におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から本会の研究活動に対しまして、御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、第 58 回全国公立小中学校事務研究大会を開催要項のとおり、佐賀県佐賀市において開催することになりました。

つきましては、この研究大会を盛大かつ実りのあるものにしたいと存じますので、貴所属職員の参加につきまして、格段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

## 第58回全国公立小中学校事務研究大会（佐賀大会）

### 開 催 要 項

- 1 大会テーマ 「学びの機会を協創する学校事務」  
—いざ！子どもたちの道を<sup>ひろ</sup>る学校へ！—
- 2 目 的 デジタル技術の急速な進展など変化の大きな時代を迎えるなか、社会の創り手となる子どもには、直面する課題に対し、自ら考え乗り越えていく力が求められている。そうした力を培うための学びの機会を社会全体で保障していく必要がある。  
学校はこれまでも、個に応じた指導や支援に努めてきたが、子どもを取り巻く環境や抱える課題が複雑化・多様化しており、従来の学校の枠組みだけでは一人一人の実態に応じた学びの機会を保障することが難しくなっている。そのため、地域や関係機関との連携・協働を一層推進し、多様な主体の強みを生かしながら、誰一人取り残さない学びを実現する必要がある。本大会では、学びの機会を保障する学校の事務機能を明らかにし、学校内外の資源をマネジメントすることを通して、多様な主体と共に学びの機会を協創する事務職員・共同学校事務室の姿を追究する。
- 3 主 催 全国公立小中学校事務職員研究会
- 4 主 管 全国公立小中学校事務職員研究会佐賀支部  
佐賀県公立小中学校事務研究会
- 5 後 援 文部科学省 全国都道府県教育長協議会 佐賀県 佐賀県教育委員会  
佐賀市 佐賀市教育委員会 全国市町村教育委員会連合会 全国都市教育長協議会  
全国町村教育長会 佐賀県市町教育長会連合会 佐賀県市町教育委員会連合会  
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 佐賀県小中学校校長会  
佐賀県公立学校教頭会 公益社団法人日本PTA全国協議会  
佐賀県PTA連合会 佐賀市PTA協議会 指定都市教育委員会協議会  
公益財団法人日本教育公務員弘済会 公益財団法人日本教育公務員弘済会佐賀支部  
一般財団法人教職員生涯福祉財団 教職員共済生活協同組合佐賀県事業所
- 6 期 日 令和8年7月30日（木）～ 7月31日（金）  
※現地参集及びオンライン参加によるハイブリッド開催（録画配信予定）
- 7 日 程

		9:30	10:00	11:00	12:00	12:30	13:30	16:30
7月30日（木） （1日目）	受付	開会式 オリエンテーション	文部科学省 行政説明	活動 報告	昼食	全体研究会 I		

		9:00	9:30	12:30	14:00	14:35	14:50	16:20	16:35
7月31日（金） （2日目）	受付	分科会 （支部提案討議・ 本部討議）		昼食 移動	全体研究会 II・まとめの会			閉会式 引継式	
				分科会報告		休憩	シンポジウム		
- 8 参 加 者 公立小・中・義務教育・中等教育・特別支援学校事務職員  
その他学校事務担当職員 教育委員会事務局職員及び教育関係者等

9 研究テーマ及び会場

【1日目】

全体会	会場 ミズ ウェルビー ホール（佐賀市文化会館） 大ホール 佐賀市日の出一丁目 21-10 TEL 0952-32-3000 定員 1,200名(参集：1,000名 オンライン：200名)
-----	---

【2日目】

※現時点では、各分科会テーマは確定していない支部もあります。

本部研究分科会 (全事研本部)	テーマ 学びの機会を協創する学校事務 — 多様性を包摂するリソースマネジメント — 会場 ミズ ウェルビー ホール（佐賀市文化会館） 大ホール 佐賀市日の出一丁目 21-10 TEL 0952-32-3000 定員 500名(参集：300名 オンライン：200名)
第1分科会 (佐賀支部)	テーマ 持続可能な学びの保障 — 保護者が通わせたい学校づくり — 会場 ミズ ウェルビー ホール（佐賀市文化会館） 大会議室 佐賀市日の出一丁目 21-10 TEL 0952-32-3000 定員 100名
第2分科会 (宮崎支部)	テーマ 転換期を迎えた学校事務職員の再社会化 — 教育的素養を持ったリソースマネージャーを目指して — 会場 ミズ ウェルビー ホール（佐賀市文化会館） イベントホール 佐賀市日の出一丁目 21-10 TEL 0952-32-3000 定員 100名
第3分科会 (沖縄支部)	テーマ つなげる、つながる — 子どもを取り巻く環境から事務職員の役割を考える — 会場 ミズ ウェルビー ホール（佐賀市文化会館） 中ホール 佐賀市日の出一丁目 21-10 TEL 0952-32-3000 定員 100名
第4分科会 (福岡支部)	テーマ 福岡県版“理想の学校”プロジェクト — こげん学校あったらよかねえ — 会場 グランデはがくれ ハーモニーホール 佐賀市天神二丁目 1-36 TEL 0952-25-2212 定員 100名
第5分科会 (長崎支部)	テーマ 続 長崎学校事務の変 — 事務職員が変われば学校が変わる!?浪漫の maker 長崎事務職員物語 — 会場 グランデはがくれ シンフォニーホール 佐賀市天神二丁目 1-36 TEL 0952-25-2212 定員 100名
第6分科会 (熊本支部)	テーマ Link KUMAMOTO — 学校事務職員がつなぐ子どもたちのミライ — 会場 グランデはがくれ フラワーホール (A) 佐賀市天神二丁目 1-36 TEL 0952-25-2212 定員 100名
第7分科会 (鹿児島支部)	テーマ 学びの機会を保障し続ける事務職員を目指して — 課題はなんげ?子どものしつため、解決すっが! — 会場 グランデはがくれ フラワーホール (BC) 佐賀市天神二丁目 1-36 TEL 0952-25-2212 定員 100名

全体会	会場 ミズ ウェルビー ホール（佐賀市文化会館） 大ホール 佐賀市日の出一丁目 21-10 TEL 0952-32-3000 定員 1,200名 (参集：1,000名 オンライン：200名)
-----	--

10 文部科学省行政説明

(文部科学省)

11 全体研究会Ⅰ

(全事研本部)

12 全体研究会Ⅱ・まとめの会

(全事研本部)

13 大会参加費 5,000円

# 第58回全国公立小中学校事務研究大会（佐賀大会）

## 研究概要

### Ⅰ 大会テーマとそのねらい

#### 年次別課題「学びの機会の保障」 大会テーマ「学びの機会を協創する学校事務」

第10次研究中期計画では、学校が抱える課題を年次別課題として設定し、その解決に向かう学校・学校事務の在り方を考えるとともに、教育行政職員としての専門性を発揮して校務運営に参画し、学校のマネジメントを推進していく事務職員の姿を追究します。3年次に当たる今大会では、「学びの機会の保障」を年次別課題とし、より良い学校づくりの具現化に向けた理論研究・実践研究等を通して、ミッションである「子どもの豊かな育ちを支援する」学校事務を追究し、教育の質やその効果を高めることを目指します。

教育基本法第4条は、すべての人が平等に教育を受ける権利を定めています。しかし、価値観の多様化、経済的格差の拡大、外国籍児童生徒の増加といった背景により、従来の学校の枠組みだけでは、一人一人の実態に応じた学びを保障することがより一層困難になってきています。不登校児童生徒へのオンライン授業や日本語教育の場を設けるなど、学校は最大限の努力をしていますが、対象者の増加と教職員の負担は深刻で、すべての子どもに十分な学びの機会を保障できているとは言い難い状況があります。

特に経済的格差は、子どもの学校外での習い事や体験活動といった学びの選択肢に直結しています。経済的に配慮を要する家庭の子どもほど学びの選択肢が少なく、貧困の連鎖が生じている実態は、令和6年6月に一部改正された「子どもの貧困対策の推進に関する法律」でも指摘されており、社会的な喫緊の課題です。また、学校教育が、知識の習得から知識を活用し、探究的に学び続ける力の習得へと変わるなか、学びの機会に対する認識も変わってきています。これまでは知識の習得に困難を抱える子どもへの支援に重点が置かれてきましたが、現在は、子どもの興味・関心の多様さも踏まえ、すべての子どもが意欲的に学ぶための支援も求められています。こうした経済的困難さや学習上の特性など、多様な背景や特性を持つ子どもも含めたすべての子どものウェルビーイングを実現するため、学校はもとより、社会全体で学びを保障する仕組みを整えていかなければなりません。

学校における学びの形は、ここ数年で大きく変化しています。1人1台端末の活用や校内教育支援センターの設置促進など、社会の変化に応じて、学びの形態は進化しています。通信環境が整っていればどこでも学習できる教材を配信したり、子どもの学力や特性に応じた学びを提供したりすることで、学びの機会を保障する取組は進められています。しかし、前述のように現状は十分な状況とは言えません。これまで以上に、行政機関や専門スタッフとの連携・協働を進め、それぞれの主体の専門性を発揮することで、子どもが抱える困難さに対応し、誰一人取り残さずに学びの機会を保障することが求められています。また、子どもは学校だけでなく、家庭や地域の中でも成長します。地域の人々とかかわりは、社会性や自己肯定感を育む機会にもなり、地域での学びは、貴重な学びの機会と言えます。社会全体で未来の担い手である子どもを育むため、様々な困難を抱えた子どもに対して学びの機会を保障する地域と共にある学校の姿を追究する必要があります。

事務職員は、日常の業務において、経営資源を活用して学びの機会を保障することができる環境にあります。教材を購入したり、施設・設備を整えたりするための予算や、徴収金の状況や就学援助率から見える家庭状況といった情報、様々な機会での子どもの学びを支援している地域の人々など、事務職員の周りには、学びの機会を保障するための資源が数多くあります。学びの機会の保障とは、本会のミッションである「子どもの豊かな育ちを支援する」ための事務職員の大きな役割であり、事務職員が主体的に学びの機会の保障に取り組むことは、すべての子どもの豊かな学びにつながります。そして、さらに事務職員の専門性を生かすことで、多様な主体と共に学びの機会を協創することができると考えます。

- (1) 誰一人取り残されない学びの機会を保障する学校
- (2) 学びの機会を協創する事務職員・共同学校事務室

学びの機会の保障を通して、未来の創り手を育み、子どものウェルビーイングを実現する学校事務の機能や事務職員の役割を追究します。夏の暑い佐賀の地で熱い議論を交わし、未来を創る子どもの学びの機会を協創する事務職員の姿を描きましょう。

## 2 全体研究会Ⅰ（1日目） 本部研究提案

全体研究会Ⅰでは、全事研本部の研究の方向性を示す機会として、本部研究の提案を行います。本部提案を通して、大会テーマと年次別課題を共有することで、各分科会での討議が更に深まるものと考えます。

テーマ「学びの機会を協創する学校事務」

Society5.0 に向かって社会の仕組みや人々の生活様式が変化し続けるなか、次代を担う子ども一人一人が多様な他者と協働し、未来の創り手として「自らの人生を舵取りする力」を身に付けていけるよう、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が求められています。一方で、教室の中には、不登校傾向の子どもや学習面・行動面で困難を抱えている子ども、日本語指導が必要な子ども、経済的配慮を要する子どもというように、多様な子どもが在籍しています。そのため学校は、多様性を包摂しながら子どもの可能性を引き出す学びの機会を創り上げることが求められます。

本研究では、子どもが自ら選択できる教育資源の選択肢とそれらを選択して活用できる能力に着目して、事務職員が専門性を発揮することが求められるリソースマネジメントの観点から、学びの機会の保障について追究します。事務職員が、学校に点在する情報を集約・分析・加工することで学校の経営判断にかかわり、その判断に基づくリソースを獲得する事務機能や、多様な主体と合意形成を図り、協働しながら子どもの学びの機会を保障していく事務職員の姿について提案し、学びの機会を協創する事務職員の役割や力量形成について追究します。

### 分科会テーマと概要（2日目 午前）

大会2日目の午前は分科会を行います。第10次研究中期計画3年次の大会テーマ「学びの機会を協創する学校事務」の下、それぞれに特色ある研究発表と活気に満ちた討議が展開されます。

#### □本部研究分科会

1日目の全体研究会Ⅰでの提案に基づいた研究討議を行い、研究の更なる深まりを目指します。

#### □第1～7分科会

本大会では、佐賀支部、宮崎支部、沖縄支部、福岡支部、長崎支部、熊本支部、鹿児島支部の協力を得て、分科会を開催します。

各分科会では、それぞれの支部で積み上げられた研究に基づく提案と、それを基にした研究協議が行われます。工夫を凝らした分科会運営によって、参加者が今後の実践につながるヒントを見出せるのではないかと期待しています。

## 3 全体研究会Ⅱ・まとめの会（2日目 午後）

全体研究会Ⅱでは、初めに各分科会での討議内容や今後の研究課題等について分科会担当者から報告を行います。その後、1日目の内容や各分科会での討議を踏まえ、シンポジウムを行います。

#### □分科会報告

本部研究を含めた各分科会担当者より、提案及び討議内容について報告をいただきます。

#### □シンポジウムテーマ 「学びの機会を協創する学校事務」

第10次研究中期計画の3年次の年次別課題である「学びの機会の保障」の観点から、事務職員が次世代の学校をマネジメントし、子どもの豊かな育ちを支援するために担う役割について追究します。シンポジストそれぞれの御発言から、年次別課題「学びの機会の保障」を軸にこれからの学校の在り方を考えるとともに、その実現のためにマネジメント力を駆使し、地域や行政機関と協働しながら学校の教育力を高めていく事務職員の在り方について探求する機会とします。

## 第1分科会 佐賀支部

### 持続可能な学びの保障

— 保護者が通わせたい学校づくり —



#### 1 研究テーマ設定の理由

教員の働き方改革に寄与するために、私たち事務職員の業務範囲が拡大し、責任が重くなる一方で、事務職員の将来への展望は不透明です。膨大な仕事に追われながらも「学びの保障」を実現する学校運営スタッフとして、将来に向かって「持続可能な」業務とは何なのか探るために、本テーマを設定しました。

#### 2 提案発表の骨子

前提として職としての研究であることを踏まえた上で「学びの機会の保障」を考察し、私たちに求められるものとは何かを改めて考えます。そして、それに基づいた実践について、失敗例も含めて報告します。さらに、実践によって得られた知見について発表し、参加の皆さんの研究実践の参考となることを目指します。

#### 3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる提案発表及び実践の報告を行い、助言者や参加者を交えて意見交流を行います。

#### 4 分科会討議の柱

- (1) 「学びの機会の保障」という領域における、事務職員の主体的かつ継続的なかかわりについて
- (2) 保護者の視点から考える「学びの保障」と、学校に求められるもの
- (3) 「持続可能」で「明日から取り組める」事務職員の役割

#### 5 参加者へのお願い

学校の事務職員にとっての「明日のための一歩」を提案します。積極的な御参加、御意見をお願いします。

## 第2分科会 宮崎支部

### 転換期を迎えた学校事務職員の再社会化

— 教育的素養を持ったリソースマネージャーを目指して —



#### 1 研究テーマ設定の理由

宮崎県の事務職員は、制度的な基盤は整っているものの、いまだ十分な役割を果たせていません。この現状を打破し、事務職員が学校経営に参画する重要な存在へと「再社会化」することが必要となってきています。

#### 2 提案発表の骨子

宮崎県における「再社会化の実際」は、「グランドデザインの改訂（リソースマネージャー像の確立）」、「業務の効率化と人材育成（校務DX）」、「教員との連携強化・協働に向けたアクション」の3つの柱で構成されています。

最終的な到達点として「リソースマネージャーとしての事務職員の確立」を目指します。

#### 3 分科会運営の形態

3つの柱の発表ごとに、質疑の時間を取り、すべてを発表後に総合的な協議を行います。

#### 4 分科会討議の柱

- (1) 「再社会化の意義」
- (2) 「提案内容の実効性と普及の課題」
- (3) 「教員との『協働』の深化」

#### 5 参加者へのお願い

発表で提案した3つの柱について、実効性や持続性の観点から、率直な御意見や建設的な改善案を御提示ください。実践事例も大歓迎です。

## 第3分科会 沖縄支部

### つなげる、つながる

— 子どもを取り巻く環境から事務職員の役割を考える —



#### 1 研究テーマ設定の理由

沖縄県では、子どもの貧困率が全国で最も高く、深刻な課題となっています。さらに、貧困以外にも、子どもを取り巻く格差が存在し、子どもたちの学びの機会を大きく左右しています。こうした現状を踏まえ、事務職員が果たすべき役割を改めて考えていきます。これまで沖縄県で積み重ねてきた共同学校事務室の取組や、子どもを支えるための多様な実践を整理しながら、今回の研究発表を「全国の事務職員が子どもの学びを支える仕組みを共に考える出発点」としたいと考えています。

#### 2 提案発表の骨子

教育環境の格差を見据え、事務職員の役割を再確認すること。  
全国の事務職員と共に、子どもの学びを支える新しい学校事務像を共有すること。

#### 3 分科会運営の形態

レクチャー・ディスカッションとワークショップを行います。

#### 4 分科会討議の柱

- (1) 「保護者負担軽減」について、事務職員はどのような役割があるのか。
- (2) 「学びの格差」について、現場と制度のギャップをどう埋めるか。

#### 5 参加者へのお願い

二次元コードで事例及び意見集約をします。学校で取り組んだ事例があれば御紹介ください。

## 第4分科会 福岡支部

### 福岡県版“理想の学校”プロジェクト

— こげん学校あったらよかねえ —



#### 1 研究テーマ設定の理由

福岡県の子どもを取り巻く現状と課題を確認してみると、特に全国と比較して「貧困」家庭が多く、小・中学校に通う子どもの5人に1人が経済的困難を抱えていることが分かりました。この課題は一朝一夕で改善できるような簡単なことではありませんし、社会全体の中の「学校」ができることは僅かかもしれません。しかし、学校財務の専門性をもつ事務職員による「知恵と工夫」の詰まった実践を集め、保護者負担の軽減に向けた“理想の学校”を考えていくことで、現状を少しでも変えることができたいだろうかと思いテーマを設定しました。

#### 2 提案発表の骨子

アンケート結果から見えた、保護者負担軽減に向け事務職員が創意工夫し実践している“理想の学校”を提示します。また“理想の学校”の実現のために必要な要素についても考えていきます。

#### 3 分科会運営の形態

提案発表 グループワーク

#### 4 分科会討議の柱

- (1) “理想の学校”の実現に向けて
- (2) 共同学校事務室による事務改善や教員、教育委員会との連携について

#### 5 参加者へのお願い

子どもたちの学びの機会を保障するために、日頃より取り組まれている実践があれば教えてください。その実践を可能とした事務職員の「知恵と工夫」を積み重ね、全国版の“理想の学校”を創り上げましょう。

## 第5分科会 長崎支部

## 続 長崎学校事務の変

— 事務職員が変われば学校が変わる!?浪漫的 maker 長崎事務職員物語 —



### 1 研究テーマ設定の理由

私たち長崎支部は、令和4年度の全事研愛媛大会において「2022長崎 学校事務の変」と題して分科会発表を行いました。長崎支部における「長崎学校事務の変」は、今もなお現在進行形であり、今回の発表はその続編となります。

「学校事務」を魅力ある職にしたい。子どもたちの学びを支え、学校運営に欠かせない存在の事務職員になりたい。そんな長崎の事務職員のロマンをかなえるべく、皆さんと意見交換できればと思います。

### 2 提案発表の骨子

前回からつながる「ランドデザイン」「評価制度」。そして今回の大会のテーマである「学びの機会の保障」についての「法的制度の整理と理解」「実践事例」「マネジメント研修」等を基に、令和の日本型教育を担う事務職員のあるべき姿について考察していきます。

### 3 分科会運営の形態

全体への提案発表、講演及びグループセッションを予定しています。

### 4 分科会討議の柱

(1) 事務職員が変われば学校が変わる!?

(2) 子どもたちのウェルビーイングを目指す「Hub」となる事務職員とは?

### 5 参加者へのお願い

単に答えを提供するのではなく、全国から集まった皆さんと一緒に考え、探究的なディスカッションの場にしたいと考えています。積極的な御参加をお願いします。

## 第6分科会 熊本支部

## Link KUMAMOTO

— 学校事務職員がつなぐ子どもたちのミライ —



### 1 研究テーマ設定の理由

あらゆる人や組織、地域等と関わる事務職員の「つなぐ」役割がこれまでより重要視されていることから、熊本県は「つなぐ(Link)」を1つのキーワードに、事務職員の小さな一歩が、子どもたちの学びを保障し、子どもたちのミライにつながると考え、設定しました。「ミライ」をあえてカタカナにしているのは、まだ形の決まっていない、子どもたちの無限大の将来を表現しています。

### 2 提案発表の骨子

県内の事務職員を対象に複数回のアンケート調査を行いました。そこで明らかになったのは、「やってみたいことがある。」という事務職員の意識でした。この「やってみたい。」をどのように実践につなぐのか、そして「『やってみた。』結果」、どのような効果をもたらしたのかを検証しました。事務職員の「明日からやってみる。」が子どもたちのミライにつながることを実践報告から、参加者と共に考えます。

### 3 分科会運営の形態

提案発表、講師助言、発表者・講師・参加者とのトークディスカッション

### 4 分科会討議の柱

(1) 事務職員に求められる「つなぐ」役割について

(2) 事務職員がつなぐ子どもたちのミライについて

### 5 参加者へのお願い

参加者の皆さんが「明日からやってみたい!!」と思えるような提案を考えています。会場で意見集約のため二次元コードを使用しますので御協力をお願いします。



## 1 研究テーマ設定の理由

私たち鹿児島県小中学校事務職員研究会（以下、鹿事研）は、将来が予測困難なVUCA時代においても、「学びの機会」は保障“し続け”なければならないと考えました。「課題探索力」と「課題解決力」を身に付けることで、学びの機会を保障し続け、鹿事研が目指す「学校のトータルプロデューサー」に近づけると考え、本テーマを設定しました。

## 2 提案発表の骨子

令和6年度に鹿児島市の研修組織の協力の下「子どもの貧困対策」、「特別支援・特性を持つ児童生徒への対応」、「不登校児童生徒支援」の3つの視点で、マンガラートの手法を活用し、学校の課題を見つけ、解決の道筋を考える、という研修を行いました。この1年間の研修に対するアンケート結果を分析し、実践事例の紹介を交えながら、課題探索力と課題解決力を養う方法について、参加者全員で考えます。

## 3 分科会運営の形態

分科会の後半は、一人一人が主体的に考えるワークショップを実施します。学校の課題解決や在るべき姿の実現に向けて、できることや必要なことを全国の皆さんと共に考えて言語化し、参加者一人一人の力を高め、“みんな”の明日からの実践につながる楽しいワークショップを目指します。

## 4 分科会討議の柱

提案発表 参加者同士の意見交換 実践事例紹介 講師講評

## 5 参加者へのお願い

皆様と共に、子どもたちのウェルビーイングにつなげる場にしたいと考えています。積極的な意見交流をお願いいたします。

## 全事研からのお知らせとお願い

### ○ 総会について

全国研究大会に先立ち、次のとおり総会を開催いたします。関係者の方々は定刻までに御出席ください。

【期 日】 令和8年7月29日(水) 受付 12時00分 開会 12時20分

【会 場】 ミズ ウェルビー ホール(佐賀市文化会館) イベントホール

〒849-0923 佐賀市日の出1丁目21-10 TEL 0952-32-3000

交通機関、道路の御案内

JR長崎本線 佐賀駅よりバス約7分、または徒歩約20分

○JR佐賀駅→バス→SAGAサンライズパーク(市文化会館前)

[佐賀駅バスセンター 2番乗り場(SAGAサンライズパーク・北部方面)]

佐賀市営バス [30] SAGAサンライズパーク・自動車試験場

昭和バス [73] 古湯温泉 [74] 中極・小城 [75] イオンモール・佐賀営業所

バス停：SAGAサンライズパーク(市文化会館前) 下車 所要時間約7分



### ○ 全事研加入の御案内

全事研は、学校事務の研究・研修の場です。未加入の方(団体)は、手続きをお願いします。

### ◎ 全事研加入に関する問い合わせ先

全国公立小中学校事務職員研究会 事務局長 小山純大  
所属校 大阪府大阪市立中之島中学校(中之島小中一貫校)  
所在地 〒530-0005 大阪市北区中之島6-1-53  
TEL 06-6441-0360 FAX 06-6441-0364

## 実行委員会からのお知らせとお願い

### ■ 参加申込みについて

本大会は、Web によるお申込み（大会参加・弁当・宿泊）を原則とさせていただきます。  
なお、大会参加申込みは定員に達した時点で受付を終了いたします。

※ 弁当・宿泊の申込みは、(株)日本旅行 佐賀支店 との旅行契約となります。

大会 Web ページ [https://va.apollon.nta.co.jp/zenjiken\\_saga2026/](https://va.apollon.nta.co.jp/zenjiken_saga2026/)



参加分科会・宿泊は申込み受付順ですが、Web 申込みを優先させていただきます。  
(FAX による申込みの場合は、別途事務手数料 300 円が必要です。また、受付期間終了日以降に FAX 受付の処理を行いますので、その時点で御希望の分科会の申込みが定員数に達している場合には、本部研究分科会に参加とさせていただきます。あらかじめ御了承ください。)

- 1 受付期間 令和 8 年 5 月 11 日 (月) ~ 令和 8 年 6 月 19 日 (金)  
「ご予約確認書(二次元コード付)」を必ず御持参ください。(印刷またはデータ)  
「弁当引換券」は必ず片面印刷して御持参ください。  
(申込みの手順及び発券期間は、14 ページを御確認ください。)
- 2 大会参加の取消し (弁当・宿泊の変更等は 3 を参照してください)  
参加費支払後は、理由の如何にかかわらず、大会参加取消し及び参加費の返金はできません。
- 3 弁当・宿泊の変更等
  - ① Web で申込まれた方は、受付期間中は Web で、受付期間を過ぎた場合は E-mail 又は FAX で手続きをしてください。電話による変更・取消しは受付いたしません。
  - ② 変更・取消しにて生じた差額は、大会終了後に取消料・振込手数料を差し引いて返金いたします。
  - ③ 変更・取消し手続きを E-mail 又は FAX で行う際、返金先の振込口座を記入してください。但し、クレジットカード支払いの方は、クレジットカードへの返金となりますので、振込口座の記載は不要です。

<取消料>

取消日	7 日前まで	6 日～ 2 日前まで	前日	当日
弁当	無料	無料	100%	100%
宿泊	無料	30%	40%	50%

※当日の無連絡の取消及び不泊は 100%となります。

#### 4 参加費等の送金

クレジットカード支払又は銀行振込にてお支払いください。

※ 振込手数料（銀行振込）は各自で御負担願います。

【 クレジットカード支払 】 支払方法は、Web の案内を御覧ください。

【 銀行振込 】 Web 申込みの際、お一人様ずつ振込口座を指定されますので、そちらの口座を御利用ください。

#### 5 その他

- ① 車椅子で参加される方は、大会申込みの際にお知らせください。詳細は、E-mail 又は FAX にて御連絡させていただきます。
- ② 申込みにあたっての個人情報については、本大会のみに利用させていただきます。

#### ■ 録画配信について

大会参加申込者に向けて、大会日程の当日の様子を学びの振り返りとして録画配信を行う予定です。録画配信開始期間、終了期間については後日お知らせさせていただきます。

#### ■ 研究集録の引換え

研究集録は電子媒体での配布となります。冊子の配布はいたしませんので、各自でダウンロードをお願いします。7月13日頃から大会 Web ページに掲載する予定です。

#### ■ 昼食（弁当）について

1日目及び2日目の弁当を1食 1,300円（税込み・お茶なし）で斡旋します。参加申込みの際に注文をしてください。弁当引換えは引換券に記載されている所定の場所で大会1日目は13:15まで、大会2日目は13:45まで行います。2日目はグランデはがくれて弁当を引換えすることはできません。ミズ ウェルビー ホール(佐賀市文化会館)のみとなります。必ず弁当引換券を片面印刷して御持参ください。

※ 弁当の申込みは、(株)日本旅行 佐賀支店との旅行契約になります。

#### ■ 交通・駐車場について

全体会場・各分科会会場に駐車場はございません。公共交通機関を御利用ください。

(JR 佐賀駅～ミズ ウェルビー ホール (佐賀市文化会館) 徒歩約 20 分)

#### ■ 宿泊について

本大会では、参加申込みの際に宿泊等の受付を行います。詳しくは 14 ページの Web による申込み方法を御覧ください。

- 1 宿泊施設一覧は 16 ページを参照してください。1泊朝食付きの料金（税・サービス料込み）が基本です。
- 2 FAX で申込まれた場合、御希望のホテルが満員になった場合は、ほかのホテルへの配宿を行う場合がありますので、あらかじめ御了承ください。
- 3 チェックイン・チェックアウト時間は各ホテルにより異なりますので、各自で御確認ください。  
※ 宿泊の申込みは、(株)日本旅行 佐賀支店 との旅行契約になります。

#### ■ 領収書について

- 1 大会参加費の請求書・領収書については、大会当日に配布される袋に同封してありますので、御確認ください。
- 2 宿泊費・弁当代の領収書の発券を希望される場合は、入金後 8 月 31 日（月）までの間に、申込みサイトより、「株式会社 日本旅行」名義の領収書の出力が可能です。

#### ■ 環境配慮について

本大会は環境に配慮して運営いたしますので、クールビズで御参加ください。また斡旋したお弁当以外のゴミは各自でお持ち帰りください。

## ■ 録音等について

文部科学省行政説明の録音、録画、写真保存及び無断転載等を行わないようお願いいたします。

## ■ クロークの利用について

各会場に基本的にクロークは用意しておりませんので、あらかじめ御了承ください。

## ■ 感染症対策について

マスクの着用については個人の判断にお任せいたします。

## ■ 天変地異等により開催中止となった場合について

台風・地震など災害が起こった際の中止等については、大会 Web ページにて御連絡いたします。

## ■ 問い合わせ

### ▶ 大会全般に関すること

第 58 回全国公立小中学校事務研究大会（佐賀大会）実行委員会 事務局長 天川佑介  
E-mail [amakawa-yuusuke@education.saga.jp](mailto:amakawa-yuusuke@education.saga.jp)  
※ お問い合わせは E-mail にてお願いします。

### ▶ 参加申込・弁当・宿泊に関すること

株式会社日本旅行 佐賀支店 担当 丸田・前田  
〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央 1-14-40 ニッセイ佐賀駅前ビル 5 階  
TEL 0952-38-5450(代) FAX 0952-38-5460  
E-mail [zenjiken\\_2026@nta.co.jp](mailto:zenjiken_2026@nta.co.jp)  
営業時間 10:00~17:30 (土日祝日は休業)  
※ FAX・E-mail でのお問い合わせは、御連絡までにお時間をいただく場合があります。

大会期間中の連絡先については、本大会 Web ページにて御案内いたします。全体会会場や分科会会場へ直接問い合わせをされないようお願いいたします。

## オンライン参加の方へ

- 参加申込みについて、現地参加の方と同じシステムによりお申込みください。  
(申込みの手順は、17 ページを御確認ください。)
- オンラインの参加申込みは、個人での御登録をお願いします。
- YouTube によるライブ配信（限定公開）での視聴参加となります。  
分科会の配信は本部分科会のみです。後日、申込み時の登録アドレスに視聴用の URL を送付します。(令和 8 年 7 月中旬以降予定)
- オンライン参加時の諸連絡は、ID 及びパスコードを送付する際にお知らせします。
- 研究集録および資料等は、大会前 7 月 13 日頃から大会 Web ページに掲載します。  
各自でダウンロードをお願いします。
- 各日程のオンライン運営方法と参加定員は以下のとおりです。

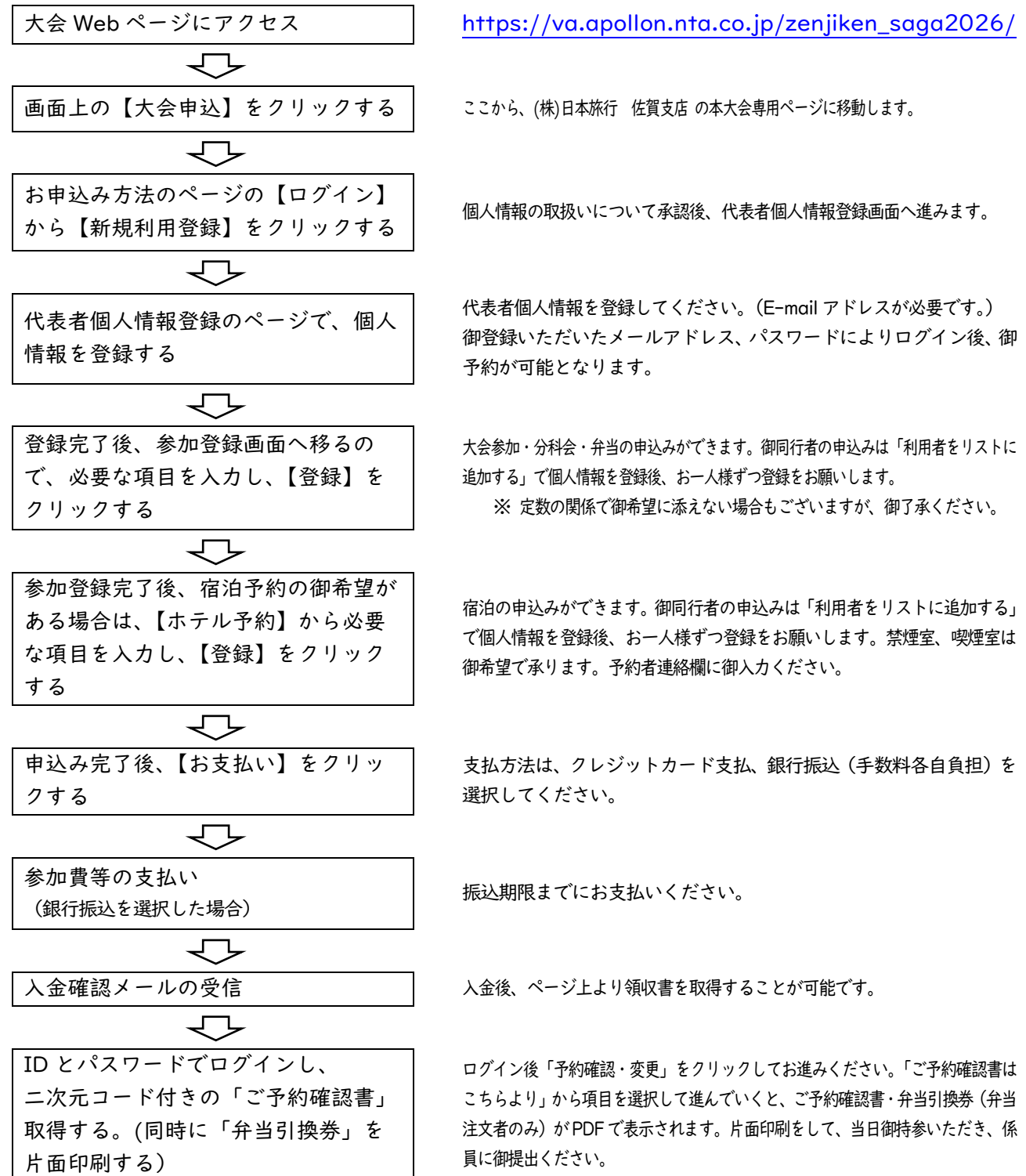
7 月 30 日 (木)			
日 程		運営方法	オンライン参加定員
開会式		ライブ配信	200 名
オリエンテーション			
文部科学省行政説明			
活動報告			
全体研究会 I			
7 月 31 日 (金)			
日 程		運営方法	オンライン参加定員
分科会	本部研究分科会	ライブ配信	200 名
全体研究会 II・まとめの会		ライブ配信	200 名
閉会式・引継式			

\*ライブ配信・・・一方向でのライブ視聴のみ(予定)

- 大会当日は、YouTube に関する使用方法・接続方法等、参加者個々の接続環境及び技術的な問題についての対応はできかねますので、御了承ください。

## 大会参加申込み方法

### □ Web による申込み方法（大会参加・弁当・宿泊）



#### ※ ログイン情報メモ

登録メールアドレス	
パスワード	

□FAXによる申込み方法（大会参加・弁当・宿泊）

※ Web 申込みができない環境にある場合のみ

※ オンライン参加は FAX での参加申込みはできません。

19 ページの FAX 専用参加申込書に  
必要事項を記入し、送信する



(株)日本旅行 佐賀支店より、請求書  
が FAX 返信されるので、内容を確認する

別途事務手数料 300 円が必要です。

※ 御希望のホテルが満員の場合はほかのホテルへ変更していただく  
ことがあります。あらかじめ御了承ください。



参加費等の支払い

振込期限までにお支払いください。



受付期間終了後に「ご予約確認書」・  
「弁当引換券」(弁当注文者のみ)等の  
送付

領収書の発行を希望された場合は、「ご予約確認書」等と同時  
に郵送されます。

「ご予約確認書」・「弁当引換券」(弁当注文者のみ)は、大会当日に御  
持参ください。

佐賀大会 全体会・分科会の会場一覧

場所	会場名・所在地・電話番号	使用目的
①	ミズ ウェルビー ホール（佐賀市文化会館） 大ホール・中ホール・イベントホール・大会議室 佐賀市日の出一丁目 21-10 TEL 0952-32-3000	全体会 本部研究分科会 第1分科会 第2分科会 第3分科会 まとめの会
②	グランデはがくれ ハーモニーホール・シンフォニーホール・フラワーホール 佐賀市天神二丁目 1-36 TEL 0952-25-2212	第4分科会 第5分科会 第6分科会 第7分科会



○ 宿泊の御案内

7月29日(水)、30日(木)の1泊朝食付き(税サービス料込み)の料金です。

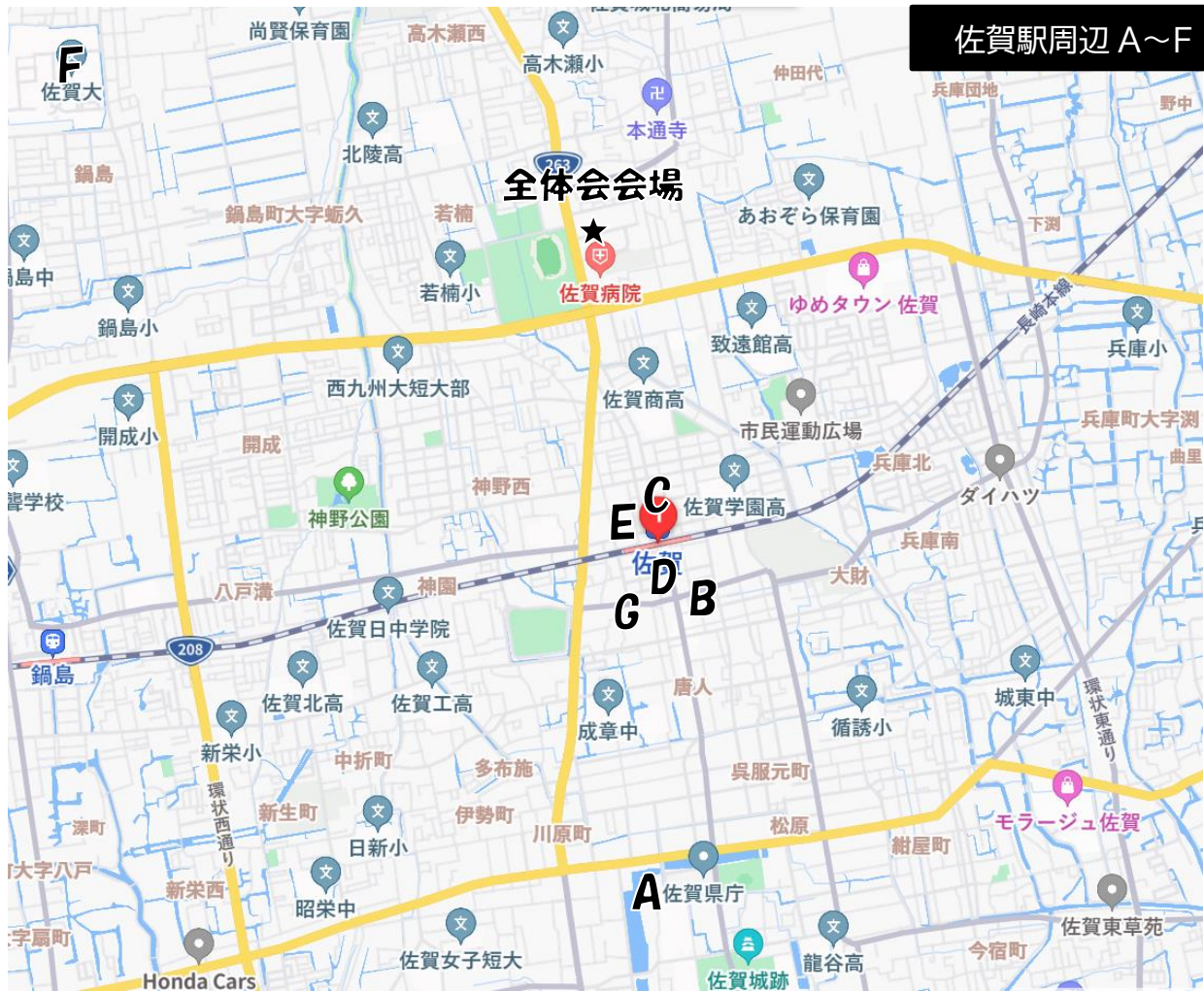
※ 朝食不要の場合も同料金です。

申込 記号	宿泊施設名	部屋 タイプ	宿泊料金 (1人あたり)	JR最寄駅からの アクセス
A	ホテルニューオータニ佐賀	シングル	19,700円	シャトルバス15分 (佐賀駅)
		ツイン(1名利用)	26,300円	
B	アパホテル佐賀駅南口	シングル	11,000円	徒歩3分(佐賀駅)
		ダブル	13,000円	
C	アパホテル佐賀駅前中央	シングル	12,000円	徒歩3分(佐賀駅)
		ダブル	15,000円	
		ツイン(1名利用)	18,000円	
D	ホテルルートイン佐賀駅前	シングル	10,000円	徒歩1分(佐賀駅)
E	コンフォートホテル佐賀	シングル	13,500円	徒歩1分(佐賀駅)
F	佐賀医大前グリーンホテル	シングル	8,000円	車15分(佐賀駅)
G	ホテルグランデはがくれ	シングル	13,800円	徒歩5分(佐賀駅)
		ツイン(1名利用)	15,000円	
H	HOTEL AZ 佐賀小城店	シングル	7,500円	車5分(牛津駅)
I	ホテルビアントス	シングル	9,000円	徒歩5分(鳥栖駅)
		ダブル	9,500円	
J	ホテルルートイン鳥栖駅前	シングル	9,200円	徒歩1分(鳥栖駅)
K	コンフォートイン鳥栖	シングル	9,000円	徒歩15分(弥生が丘駅)
L	HOTEL AZ 佐賀吉野ヶ里店	シングル	7,500円	徒歩10分(吉野ヶ里公園駅)

※詳細はWEBで確認ください。

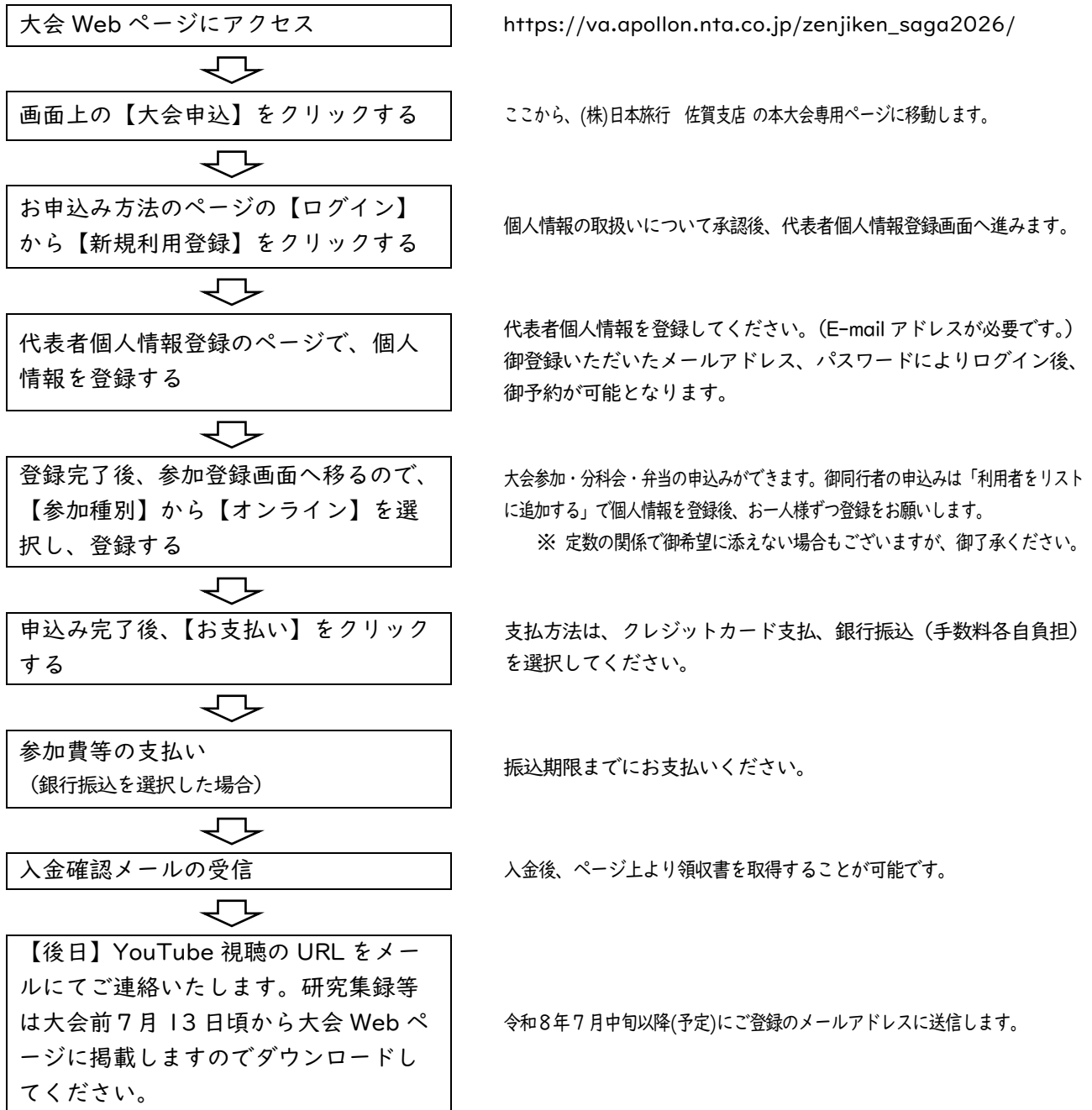
※FAXでのお申込みの際は、必ず申込記号を明記してください。申込み順での御案内となりますのでお早めにお申込みください。なお、部屋数に限りがあり、御希望に添えない場合もありますので、あらかじめ御了承願います。

※お申込みの状況によっては残室数の関係で同施設での連泊のお申込みができない場合がございますので御注意ください。



## 大会参加申込み方法(オンライン参加の方)

### □ Web による申込み方法 (大会オンライン参加)



#### ※ ログイン情報メモ

登録メールアドレス	
パスワード	

※ オンライン参加は、Web 申込みのみとさせていただきますので、FAX での参加申込みはできません。

# 「第58回全国公立小中学校事務研究大会（佐賀大会）」 FAX専用参加申込書

宛先：(株)日本旅行 佐賀支店 担当 丸田・前田 行き  
 ( TEL : 0952-38-5450(代) E-mail : zenjiken\_2026@nta.co.jp )

**FAX : (0952-38-5460)**

下記に必要事項を御記入いただき、FAXにてお送りください。

※ 申込締切日：令和8年6月19日（金）

申込日 令和8年 月 日

学校名 (所属先)				所属先 都道府県名	
職名	フリガナ				
	氏名				
経験年数	<input type="checkbox"/> 1～10年 <input type="checkbox"/> 11～20年 <input type="checkbox"/> 21年以上				
連絡先	所属住所 (所在地)	〒 -			
	TEL (所属)	FAX (所属)		携帯 (任意)	
	E-mail	@			
参加期間	<input type="checkbox"/> 2日間 <input type="checkbox"/> 1日目(7/30)のみ <input type="checkbox"/> 2日目(7/31)のみ				
参加希望分科会	<input type="checkbox"/> 本部研究分科会 <input type="checkbox"/> 第4分科会 <input type="checkbox"/> 第1分科会 <input type="checkbox"/> 第5分科会 <input type="checkbox"/> 第2分科会 <input type="checkbox"/> 第6分科会 <input type="checkbox"/> 第3分科会 <input type="checkbox"/> 第7分科会		※分科会スタッフの方は✓を入れてください。 <input type="checkbox"/> 分科会スタッフ		
宿泊	7月29日(水)	7月30日(木)	※幹旋宿泊施設を希望しない方へ お手数ですが、補助金申請のため、7/29(水)・7/30(木)の宿泊について、御回答ください。 7月29日(水)・30日(木)の宿泊先 <input type="checkbox"/> 佐賀県内の宿泊施設を利用する そのうち、 <input type="checkbox"/> 佐賀市内の宿泊施設を利用する <input type="checkbox"/> 佐賀県外の宿泊施設を利用する <input type="checkbox"/> 宿泊施設は使用しない(友人宅や実家など、宿泊に経費の支出を伴わない宿泊を含む) ※御協力ありがとうございました。		
	<input type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望する			
	第1希望記号	第1希望記号			
	第2希望記号	第2希望記号			
弁当	7月30日(木)	7月31日(金)	※弁当引渡場所は、弁当引換券にて御確認ください。		
	<input type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望する			
連絡事項	<input type="checkbox"/> 領収書発行を希望 <input type="checkbox"/> 車椅子を使用 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

**【お客様の個人情報の取扱いについて】**

- ① 当社では、お客様から御提供いただきました個人情報を厳重に管理し、申込みいただきました宿泊の手配、チケットの発送、お客様との連絡及び大会主催者への提供並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。
- ② その他、当社の個人情報の取扱いにつきましては当社ホームページ (<https://www.nta.co.jp>) を御参照ください。
- ③ 個人情報の取扱いに関する問い合わせ先 (株)日本旅行 佐賀支店 (担当：丸田・前田) TEL：0952-38-5450(代)



 **全国公立小中学校事務職員研究会**  
URL : <https://zenjiken.jp> E-mail : [info@zenjiken.jp](mailto:info@zenjiken.jp)